

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		重症心身障害児(者)等在宅レスパイト					所管	福祉部 障害福祉課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	114	計画事業名	医療的ケアへの支援			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現 [施策] 24 障害者の地域生活を支える環境づくり					[事業開始]	平成30年度		
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区重症心身障害児(者)等在宅レスパイト事業実施要綱						
	事業対象	直接の対象 : 居宅等に看護師又は准看護師を派遣する事業所 最終的な対象 : 医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)及びその者を介護する家族等								
	事業目的	在宅の重症心身障害児(者)等の健康の保持とその者を介護する家族等の福祉の向上を図る。								
	事業内容 [H30年度]	在宅の重症心身障害児(者)等に対し、自宅または在学している学校へ訪問看護師を派遣して一定時間の医療的ケアを代替し、その者の家族等の休養を図る。本事業の利用をするためには、区に利用者登録申請を行い、区があらかじめ事業実施に係る協定を締結している訪問看護事業者から訪問看護師が派遣される。 提供回数: 登録をした年度内に24回を超えない範囲で、月4回を上限としている。 提供単位: 1回あたり2時間から4時間まで30分単位								
	委託の有無	一部委託	委託内容		医療的ケア及び常時の見守り、食事、排泄、体位交換等の介助					
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	延利用回数	回	108	-	-	64	201	31.8%	
	成果指標	利用登録者数	人	12	-	-	12	12	100.0%	
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト (人件費など)				-	-	3,527		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				-	-	13		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				-	-	1,476		
		総経費				-	-	5,016		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				-	-	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				-	-	282				
一般財源 (区負担額)				-	-	4,734				
課題及び今後の進め方	登録しているが利用していない登録者については、利用登録更新手続きの際に、再度事業周知を図り、利用の促進につなげていく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	常時、学校まで付き添いを行っている保護者にとって、自宅のみならず学校へも訪問看護師を派遣する本事業の必要性は高い。							
	効率性	3	区内及び近隣の訪問介護事業所を有効に活用することで、効率的な支援を実施している。							
	手段の適切性	3	利用者が使い慣れている訪問看護事業所から看護師を派遣するため、利用者の安心感につながっている。							
目的達成度	2	平成30年度より新たに実施した事業であり、延利用回数は想定を下回ったが、利用者の多くは本区の独自策である学校への看護師派遣を活用しており、事業目的は一定程度果たしている。								
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
在宅レスパイトの利用促進により、医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)を介護している家族などに一時的な休養を促すことができ、また、訪問看護による障害児(者)の健康保持にも寄与することになる。利用登録者の利用意向を把握しながら、そのニーズに対応できるよう事業の周知を改めて行い、介護する家族等の介護負担軽減を図る。						改善		拡大改善維持縮小廃止・終了		